

少年非行と犯罪被害防止

夏休みの子どもの非行や犯罪被害を未然に防ごう

夏休みは、学校や先生、保護者の監視から解放されて気が緩んだり、インターネットを利用する時間が増えることから、少年が非行や犯罪被害に巻き込まれる可能性が高くなることが懸念されます。子どもを犯罪から守るためにも、家庭や地域の大人が子どもの行動に関心を持ち、「このくらいなら・・・」などと思わず、小さなことでも積極的に声掛けをしましょう。

SNS等を通じた、インターネットの性被害等に注意しよう！！

【代表的な事例】

- SNSで知り合った女の子と下着姿の写真を交換したら、実は相手が男性で、裸の写真を送らないと下着の写真をばらまくと脅された。
- SNS等で「家出したい」と書き込んだら親切な人が声をかけてくれ、その人の家に行ったら、監禁されて性被害にあった。
- SNS等に「お金に困っている」等と書き込むと、犯行グループから「楽に大金を稼げる仕事がある」と書き込みがあった。個人情報を送って応募すると、仕事が犯罪行為であることがわかり、拒否したが、「自宅に押し掛ける」「家族を狙う」等と脅されたため、犯罪行為に加担した。

《被害に遭わないためのポイント》

- ◆ 投稿した情報から自分の情報が相手にわかることを理解する。
- ◆ 見ず知らずの人と個別にメッセージのやりとりや通話をしない。
- ◆ 家庭内でルールを決めよう。
 - ・知らない人と連絡先を交換しない。
 - ・SNSへの個人情報の書き込みをしない。



杵築日出警察署だより

**令和8年
7月号**

発行
杵築日出警察署
☎ 0977-72-2131

おおいた夏の 事故ゼロ 運動

本運動は、「大分県交通安全県民運動実施要綱」に基づき、夏季における交通事故防止の徹底を図ることを目的に、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを習慣づけるため、県民総ぐるみ運動として展開していくものです。

1 期間 令和8年7月9日（木）～7月15日（水）

【一斉行動日】

7月9日（木）早朝又は夕刻における街頭啓発日

7月15日（水）早朝又は夕刻における街頭啓発日

2 運動の重点

- (1) 横断歩道での交通ルールの遵守とマナーアップの推進
- (2) 高齢者と子どもの安全な通行の確保
- (3) 自転車等利用時のヘルメット着用の交通ルールの理解・遵守の徹底
- (4) 全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底

